

NICT/EMC-net

御案内



I 趣旨 EMC の様々な課題について、会員及び NICT 職員が、研究会などを通じて情報交換や意見交換を行い、さらに測定調査や見学実習を行うことによって、EMC 関連技術に関する理解を深め、併せて、我が国の EMC 関連技術の向上に役立てることを目的とします。

II 研究会

＜研究会＞ 会員は、広く産学官から募集致します。平成 28 年度から、より広い範囲を検討対象に含めるため研究会構成を下記のように改定いたしました。

(1) EMC 測定法研究会

本研究会では、CISPR(国際無線障害特別委員会)で検討されている放射・伝導妨害波測定法、および IEC TC77(電磁両立性技術委員会)で検討されているイミュニティ試験法などを対象として、規格策定・改定審議における背景や要点を紹介し、これらの測定法・試験法の問題点や現場での対応策・改善策等について、幅広い意見交換を行います。

(2) EMC 校正法研究会

現在 CISPR/SC-A で NICT が議論を主導している放射妨害波測定用アンテナの校正法や妨害波測定場の評価法、高周波測定器や電磁界プローブの校正技術について国際動向や技術的課題を紹介し、uncertainty 評価や実際の校正における問題点などについて広く意見交換を行います。

(3) 人体の電磁界ばく露評価研究会

携帯電話、RFID や無線電力伝送技術等、近年の電波利用環境の普及・拡大に伴い、電磁界への人体ばく露に対する関心が高まっており、また製品開発においても電波防護指針や国際ガイドラインへの適合性確認が重要になってきています。本研究会では電磁界への人体ばく露に関する研究・開発動向や規制動向等を紹介し、幅広く意見交換を行います。

(4) 将来課題研究会

上記3研究会を含む電磁環境技術分野において今後我が国が取り組むべき重点的研究課題について、技術トレンドや国際動向も踏まえて幅広い議論・意見交換を行います。

III 研究会の内容、回数、会費

- (a) NICT 職員・会員・外部講師による講演、および情報交換や意見交換を行います。また、個々の問題に関して、調査測定や見学実習を行います。
- (b) 開催時期は研究会によって異なりますが、各研究会とも年 1～2 回程度開催致します。なお、希望者多数の場合は先着順になります。
- (c) 会費は無料です。

IV 講演会・セミナー

- (a) シンポジウムは、毎年度末に開催
- (b) その他、一般に対する講演会やセミナーも適宜開催致します。

V 平成 29 年度の活動状況

- (a) EMC校正法研究会：第 15 回：2017/11/16
- (b) 人体の電磁界ばく露評価研究会：第 4 回：2017/12/5
- (c) EMC測定法研究会：第 16 回：2017/12/7
- (d) シンポジウム：第 12 回：2018/2/23

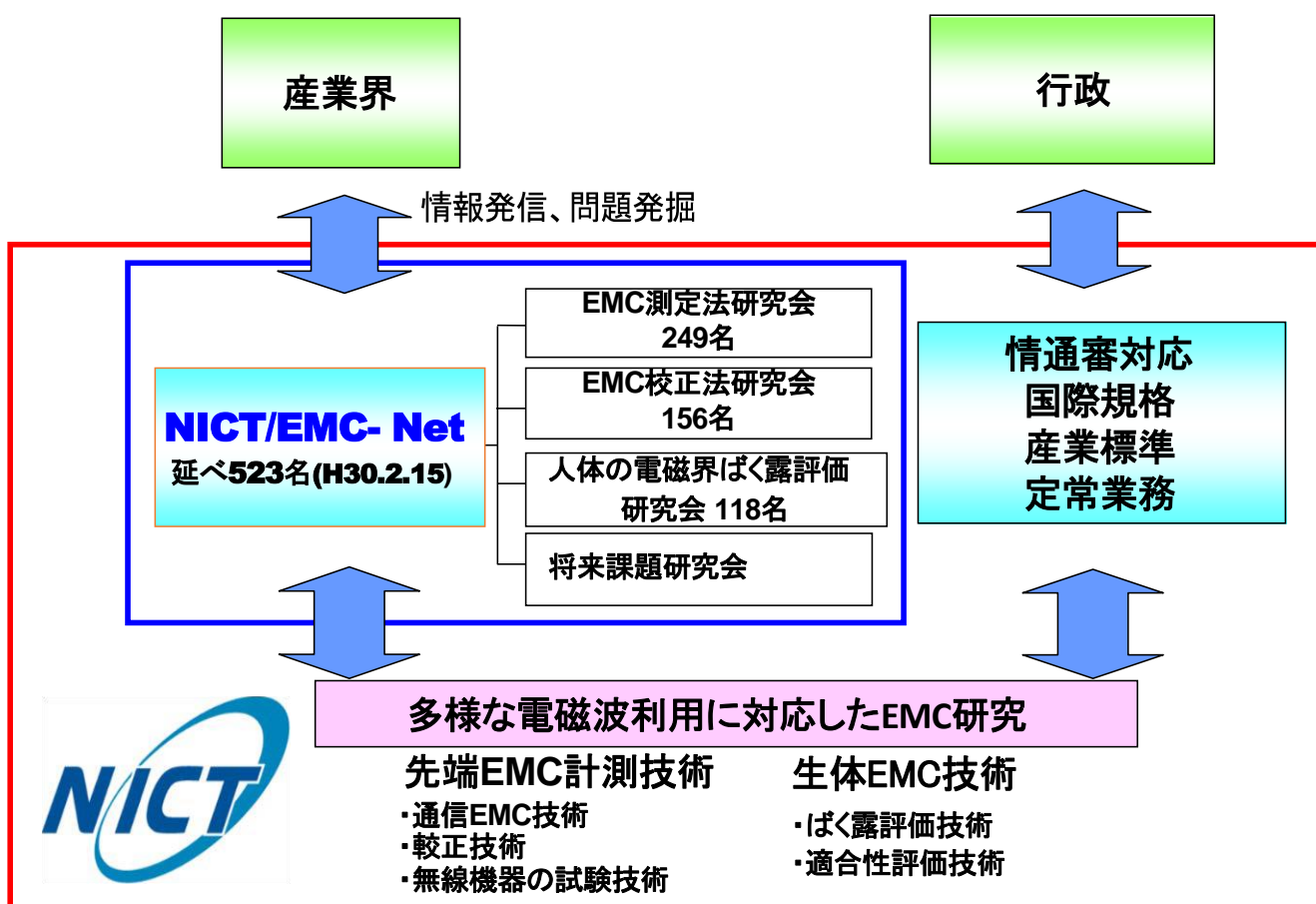
VI EMC-net 会員登録および研究会参加の申込み先

184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1
国立研究開発法人情報通信研究機構
電磁波研究所 電磁環境研究室

松本 泰、兼平 忍

Tel: (042)327-7446 Fax: (042)327-7537

E-mail: info-emcnet@nict.go.jp



<http://emc.nict.go.jp>

NICT/EMC-net 研究会の主任と幹事

(1) EMC 測定法研究会

主任：和田 修己（EMC 測定法，電気電磁回路モデリング，EMC 実装）1983 年京大大学院電子工学専攻修士課程了。1987 年同博士後期課程了。1988 年岡山大助手，その後講師，助教授。2005 年京都大学大学院工学研究科電気工学専攻教授，現在に至る。1999 年より IEC SC47A/WG9（集積回路の EMC 測定法），2004 年より同/WG2（集積回路の EMC モデリング）エキスパート，JEITA 半導体 EMC-SC 客員。KEC 関西電子工業振興センター EMC 専門委員会委員長。工博。

幹事：石上 忍（イミュニティ試験法）1992 年電気通信大学大学院電子工学専攻博士前期課程了。同年～1999 年電気通信大学電子工学科助手。1999 年郵政省通信総合研究所（現 NICT）入所。ESD 電磁界測定，イミュニティ試験法，TEM デバイスによる EMC 試験法などの研究・業務に従事。2004 年より IEC 国際会議に参加。平成 28 年 4 月より東北学院大学工学部 教授。IEC SC77B TEM JTF，IEC TC77 WG13，CISPR/A WG1，WG2 各エキスパート。工博。

幹事：張間 勝茂（EMC 測定法）1986 年九工大・工・電気卒。同年郵政省電波研究所（現 NICT）入所。以来，アンテナ測定，数値電磁界解析，リバーブレーションチャンバ等の EMC 測定に関する業務・研究に従事。IEC SC77B 国内委員，IEC/JTF/TEM，IEC/JTF/REV 各エキスパート（2015, 2016, 2017）。JIS 原案作成委員（2015, 2016）。

(2) EMC 校正法研究会

主任：藤井 勝己（高周波計測器の校正）2001 年電気通信大学大学院電子工学専攻博士課程了。同年～2006 年東北大学電気通信研究所助手。2004 年～2006 年 NICT 短期専攻研究員兼務。2006 年 NICT 入所。EMI 測定用アンテナや高周波電力計等，無線用測定器等の校正に関する研究・業務に従事。工博。

幹事：浜田 リラ（電磁界ばく露計測器の校正）2000 年千葉大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了。同年～2005 年電気通信大学電子工学科助手。2005 年 NICT 入所。電磁界の人体ばく露の防護指針適合性評価および計測機器の校正に関する研究・業務に従事。IEC TC106 エキスパート。電気学会 IEC TC106 国内・高周波委員会委員。工博。

(3) 人体の電磁界ばく露評価研究会

主任：多氣 昌生（生体電磁気学，環境電磁工学）1981 年東大大学院工学研究科博士課程修了。同年都立大助手，1983 年同講師，1986 年同助教授，1998 年同教授，2005 年首都大教授，現在に至る。1996 年から 2008 年まで国際非電離放射線防護委員会主委員会委員。2000 年より電気学会 IEC TC106 国内委員会委員長，2008 年より総務省生体電磁環境に関する検討会座長代理，2011 年より 2014 年まで国際電波科学連合医用生体電磁気学分科会委員長，2013 年より総務省情報通信審議会電波利用環境委員会主査。工博。

幹事：渡辺 聡一（電磁界ばく露量評価）1996 年都立大大学院工学研究科電気工学専攻博士課程修了。同年郵政省通信総合研究所（現 NICT）入所。数値人体モデルを用いたばく露量評価数値計算，携帯電話端末等の電波防護指針適合性評価，電磁界の生体影響評価のための医学・生物実験等に従事。2006 年より電気学会 IEC TC106 国内委員会高周波委員会委員長，2007 年より総務省情報通信審議会電波利用環境委員会比吸収率測定方法作業班主任，2012 年より国際非電離放射線防護委員会主委員会委員。工博。

(4) 将来課題研究会

将来課題研究会は、検討テーマによって上記 3 研究会の主任・幹事が適宜担当して開催いたします。

名誉顧問	杉浦 行	東北大学名誉教授
代表幹事	多氣 昌生	首都大学東京 大学院理工学研究科 電気電子工学専攻 教授
代表幹事補佐	松本 泰	NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室 室長
幹事	藤井 勝己	NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室
幹事	渡辺 聡一	NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室
幹事	後藤 薫	NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室
幹事	浜田 リラ	NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室
幹事	張間 勝茂	NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室
幹事	篠塚 隆	NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室
幹事	石上 忍	東北学院大学 工学部情報基盤工学科 教授
幹事	和田 修己	京都大学 大学院工学研究科 電気工学専攻 教授
顧問	平 和昌	NICT 電磁波研究所 所長

NICT/EMC-net 会員登録申込書

フリガナ

お名前: _____

ご勤務先: _____

ご所属: _____

〒
ご住所: _____

お電話: _____

Email: _____

下記の研究会のうち、御登録を希望されるものに○を付けて下さい。

(1) EMC 測定法研究会	
(2) EMC 校正法研究会	
(3) 人体の電磁界ばく露評価研究会	
(4) 将来課題研究会	※

※「将来課題研究会」は毎回異なるテーマになるので、固有の会員を登録致しません。
他の研究会（複数可）へのご登録をお願い申し上げます。
（開催案内は(1)～(3)のすべての研究会の会員にお送りします）

ご登録いただきました個人情報は、本 NICT/EMC-net に関わる業務のみに使用致します。

連絡先

184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1
国立研究開発法人情報通信研究機構
電磁波研究所 電磁環境研究室
松本 泰、兼平 忍

Tel: (042)327-7446 Fax: (042)327-7537
E-mail: info-emcnet@nict.go.jp